

Paul Smith
WATCH

Paul Smith 時計
取扱説明書

はじめに

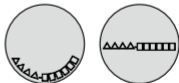
このたびは、ポール・スミスウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

【機種番号の見かた】

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています(右図)。この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例






時計によって表示位置は異なります。



安全上のご注意 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

お使いになる前に

《バンド調整について》

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)

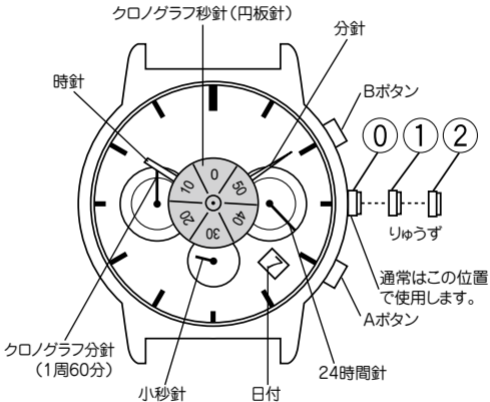
《保護シールについて》

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

目次

各部の名称.....	6
ねじロックリゅうずの使いかた.....	7
時刻を合わせる.....	8
日付を合わせる.....	9
クロノグラフを使う.....	10
防水性能について.....	14
お取扱いにあたって.....	16

各部の名称



ねじロックりゅうずの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、りゅうずがねじロック式になっています。

ねじロック式のりゅうずは、りゅうずのロックを解除してから、操作してください。

また、操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。

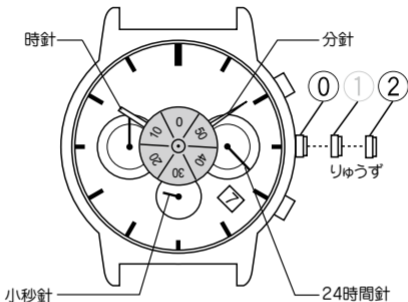


りゅうずが飛び出す
まで、りゅうずを左に
回す



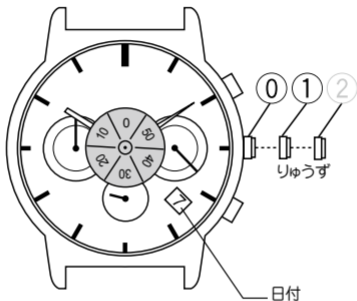
りゅうずを押し込
みながら右に回し、
しっかり締める

時刻を合わせる



1. 秒針が0を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して時刻を合わせる
・ 午前/午後の違いは、24時間針で確認します。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする

日付を合わせる



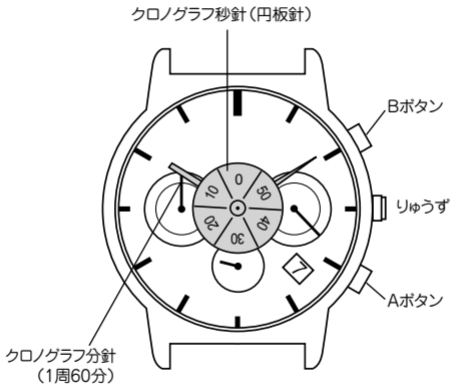
1. りゅうずの位置を①にする

2. りゅうずを右に回して日付を合わせる

- ・ 午後9時から午前1時の間は、日付表示が切り替わる時間帯です。この時間帯での日付の修正はさけてください。

3. りゅうずの位置を②にする

クロノグラフを使う



■計測を開始・停止・再開する

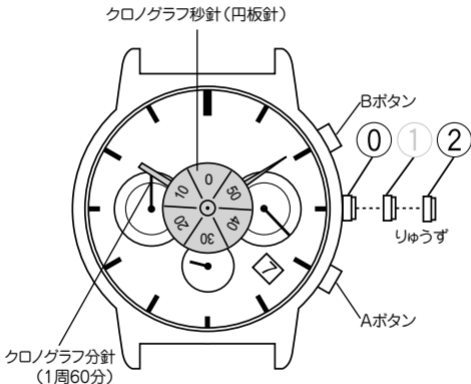
Bボタンを押します。

■リセットする

Aボタンを押します。

- 計測中に押しても、クロノグラフはリセットされます。
- 60分計測すると、クロノグラフは止まります。
- クロノグラフ使用中にりゅうずの位置を①にすると、クロノグラフはリセットされます。
- クロノグラフの多用は、電池寿命を短くします。
- クロノグラフ使用中に時計に振動を与えると、計測が正しくできない場合があります。

クロノグラフを使う



■クロノグラフ針が12時位置に戻らないときには
電池交換の後や強い衝撃を受けたときなどに、クロノグラフ分針・クロノグラフ秒針(円板針)が、12時位置(真上)に戻らなくなる場合があります。以下の手順で、針の位置を12時位置に合わせます。

1. りゅうずの位置を②にする

2. Bボタンを押して、クロノグラフ秒針の「0」を12時位置に合わせる

- ・ くり返し押すと、クロノグラフ秒針が1ステップずつ動きます。
- ・ 押し続けると、連続して動きます。

3. Aボタンを押して、クロノグラフ分針を12時位置に合わせる

4. りゅうずの位置を①にして修正を終了する

防水性能について








警告 防水性能について

- ・ 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1 barは約1気圧に相当します)
- ・ WATER RESIST(ANT)××barはW.R.××barと表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板又は裏蓋	
非防水時計	—————	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できませんが、素潜り(スキューバダイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できませんが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例				
				
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンペを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

お取扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじロック式であれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

〈バンドについて〉

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき

〈温度について〉

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

〈磁気について〉

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ一部、電磁調理器などに近づけないでください。

〈ショックについて〉

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能・性能に異常を生じる場合があります。

〈静電気について〉

- クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

〈化学薬品・ガス・水銀について〉

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾールトイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

注意 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。
金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 皮革バンドやウレタンバンドは乾いた布などで拭いて汚れを取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

注意 電池交換について

- 切れた電池を充電しようとししないでください。
- 使用済みの電池を火中に投げないでください。
- 電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 分解・改造・加熱しないでください。事故につながる恐れがあります。
- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換をしてください。
- 電池交換の際は、必ず指定電池をご使用ください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

